



富山アラート発令中！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年4月21日

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第15週分・4月12日～4月18日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

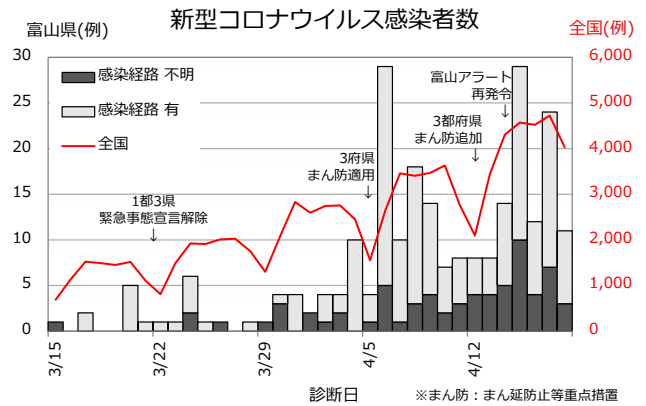
国内の新型コロナウイルス感染者数は、4月18日時点で534,052例となり、9,641例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は3月下旬から急増しています。4月20日からまん延防止等重点措置の適用地域が更に拡大し、10都府県が対象に指定されています。本措置では、知事が指定した区域の飲食店の営業時間を午後8時までに短縮、カラオケ設備の利用の自粛等が実施されます。また、政府は感染が拡大している東京都、大阪府、兵庫県の3都府県に対して3回目となる緊急事態宣言の発出を検討しています。

県内では、今週103例の新規感染者が報告され、4月18日時点の累積感染者数は1,157例になりました(図;棒グラフ)。また、従来株に比べて感染性が高いとされる変異株(N501Y)の県内における累積検出数は132例となりました(4月20日時点)。新規感染者数、感染経路不明者数は増加傾向にあり、市中での感染リスクが高まっています。このため、県は4月14日に3回目の感染拡大警報「富山アラート」を発令しました。富山アラートでは、下記3点について注意喚起しています。

- ① まん延防止等重点措置が実施されている10都府県との不要不急の移動自粛
- ② 会食時の「*ますずし」の実践、特に会話の際のマスク着用の徹底
- ③ 家庭内でもマスクを着用するなど、感染予防行動を徹底

※ま：マスクをつけ
す：すぐに手洗い、飲む量抑え
ず：少ない人数
し：静かに食べる

発熱等の症状があり医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 103件
- 二類感染症 結核 3件 (①40歳代、男性 ②70歳代、男性 ③90歳代、男性)
- 四類感染症 つつが虫病 1件 (70歳代、女性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (60歳代、男性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第14週診断分:80歳代、男性、C群、G群)
- 梅毒 1件 (20歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	3.79 (↑)	2.93
2位	感染性胃腸炎	2.69 (↑)	2.52
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.45 (↑)	1.21
4位	突発性発しん	0.62 (↑)	0.34
5位	咽頭結膜熱	0.21 (↓)	0.34
6位	水痘	0.17 (↑)	0.00

RSウイルス感染症が増えています！

3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2~3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第15週 令和3年4月12日～令和3年4月18日）

分類	疾患	今週報告分（第15週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	4	10	16	3	70		103	28	67	106	29	341	6	577
二類感染症	結核			2		1		3	3	3	7	4	13		30
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2				2
四類感染症	E型肝炎												1		1
	つつが虫病	1						1	1						1
	レジオネラ症									1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎								1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1		1			1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		1		5		7
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒					1		1		1	1		9		11
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	14	2	6		88		110	34	8	10		304		356
		3.50	0.67	0.75		8.80		3.79							
	咽頭結膜熱			5		1		6	17	20	72	1	42		152
				0.63		0.10		0.21							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	1	26	2	6		42	39	21	341	62	107		570
		1.75	0.33	3.25	0.50	0.60		1.45							
	感染性胃腸炎	13	10	14	1	40		78	258	138	197	38	328		959
		3.25	3.33	1.75	0.25	4.00		2.69							
	水痘			2	1	2		5	1	3	13	3	16		36
				0.25	0.25	0.20		0.17							
	手足口病								1		4	1	2		8
	伝染性紅斑		1					1		1	4	1	5		11
			0.33					0.03							
	突発性発しん	2	1	7	1	7		18	19	14	55	21	50		159
		0.50	0.33	0.88	0.25	0.70		0.62							
ヘルパンギーナ								15						15	
流行性耳下腺炎								2	2	3	1	2		10	
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												1		1	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎									1	5	1			7	
インフルエンザによる入院患者（※2）											7			7	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。